

## 蓮華温泉・白馬大池・白馬岳・鉾山道山行

【山城】北アルプス白馬岳・蓮華温泉

【日程と天気】2017年9月30日～10月1日 晴れ

【メンバー】CL 菊池・小俣・Hさん（元会員）

【行程】

9月29日：千葉—サンサンパーク（仮眠）

30日：仮眠場所 4：30—蓮華温泉（駐車場）6：30—10：34 白馬大池—14：35 白馬岳山頂—14：50 白馬山荘（泊）

10月1日：白馬山荘 7：15—白馬岳山頂—三国境—鉾山道入口—鉾山道—14：20 蓮華温泉

【目的】

- ・蓮華温泉ベースに紅葉で評判の鉾山道
- ・秋の白馬大池・白馬岳と剣岳の展望
- ・蓮華温泉の露天風呂

これらを鉾山道に紅葉の旬の時期に満喫することを目的に準備した。



・夏の白馬三山縦走計画を検討中に小俣さんから鉾山道の紅葉が大評判であるとの情報を入手、旬の時期の好天を狙って山行を実施することとし、休暇を取得し4～5日間から日程を選択できるように準備した。ちば山の新歓の時期と重なったり、ほかの参加希望者が都合で不参加となったりしたため、メンバーの獲得に苦労したが元会員のHさんに参加していただき、3名の楽しい道中となった。季節の変わり目で周期的に雨と好天を繰り返す時期

であったが、好天に恵まれ秋の澄み切った青空のもと、素晴らしい紅葉と 360 度の大パノラマを堪能できた。

・午後 8:30 千葉みなと駅集合、0 時 40 分頃サンサンパークに到着、未明の 4:30 出発、ヒワ平展望台で未明の頸城の山々などを見て 6:00 少し前に駐車場に到着すると、すでに満杯状態、漸く端に最後の一台分のスペースを確保できラッキーであった。好天と蓮華温泉ベースの山行の人気ぶりが理解できた。蓮華温泉は 4 月～GWの山スキーシーズンには度々訪れ、夏山の入山として 2 回利用していたが、紅葉の時期には初めてであり、絶好の山行日和にワクワク感がこみ上げてきた。そそくさと支度を済ませ、白馬大池への登山道に入る。山スキーで白馬大池方面から滑走して来るルートを説明しながら進むと、対面に露天風呂のある白い斜面が見え、下山後の入浴への期待感が高まった。蓮華温泉は標高 1450m 程、紅葉が始まっているが、まだ時期が早い。徐々に高度を上げると、黄葉したダケカンバ・強風で曲がりくねったカラマツが黄色く色づき始めていた。この辺にはナナカマドは少なく赤い紅葉は少なかったが、展望の効く天狗の庭 (2093m) あたりでは、対面の鉾山道のある雪倉岳下部の多彩な紅葉の錦絵を望むことができテンションが一気に上がった。



標高 2330 の白馬大池には多くのハイカーで賑わっており、早くも色とりどりのテントの花が咲いていた。夏にはチングルマの群落が見事であるがこの時期でも葉は紫色に紅葉し、その絨毯の上に風でなびく穂の群落も素晴らしい。白馬大池の周辺は写真撮影の好ポイントである。しばし時間を取ってグレイトショットを狙った。紅葉と赤い実のナナカマ





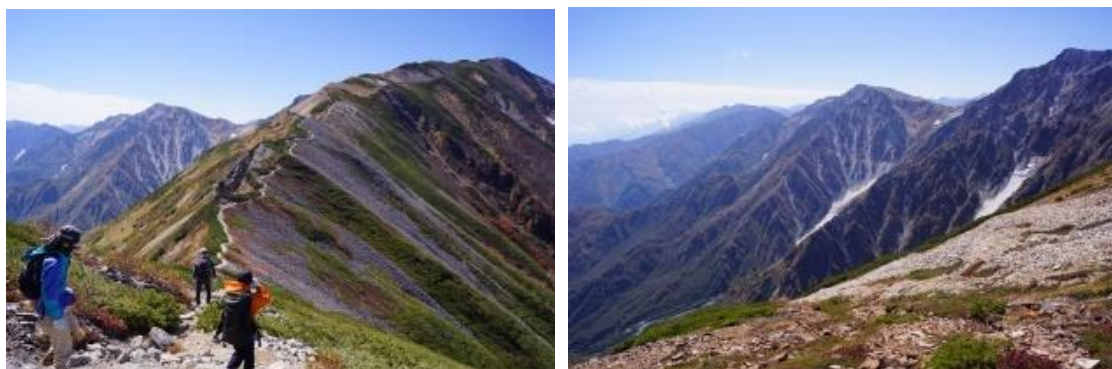
ドを前景に池の向こうに、船越の頭に向かう多彩な錦の斜面が素晴らしい。



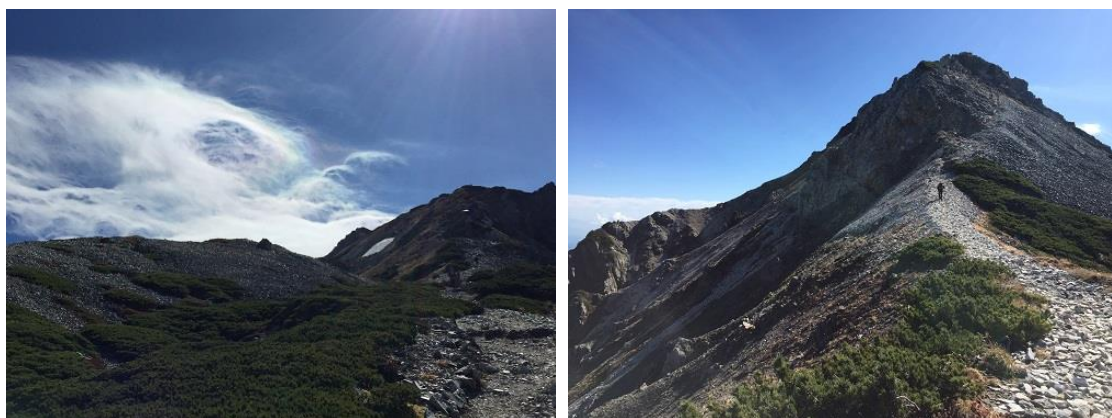
・蓮華温泉から白馬岳山頂までの標準所要時間は歩程約 6 時間である。私はいつもながら仮眠では睡眠は殆ど取れなかった。他の 2 名は 2 時間半ほど眠れたようである。もともと亀足である小生と健脚の 2 名のパーティである。写真を撮りながらのゆっくり登高に付き合ってください、標準時間 3 時間の行程であるが、休憩を含み 4 時間で白馬大池に到着した。白馬山頂までの後半戦はお二人に先行していただき最後尾で写真を撮りながらゆっくり進んだ。船越の頭を通過すると間もなく白馬三山の雄姿が眼前に現れ、



夏山のお花畑越しの白馬三山が思い出される。



小蓮華に向かう稜線はもともと風が強いエリアである。天気予想では白馬山頂の最大風速は15m強である。風の弱いところもあるが標高が上がってくると風は強くなり、小蓮華岳山頂では強風と寒さで閉口した。風が避けられるところで短時間の行動食休憩を取り三国境に向かった。360度の大パノラマを欲しいままにし、写真撮影を楽しみながら白馬岳山頂への最後のややつらい登りを頑張った。風が強く流れる雲に彩雲が見られた。気温はそれほど低くはなかったが、登山道には霜柱が残っており、強風のため体感気温はかなり低く感じられ、重ね着と冬用の帽子で寒さをしのいだ。



頂上には14:35頃到着、強風・体感気温低下のため、山頂で長居をするハイカーは殆どいなく、われわれも急いで記念撮影して山荘に向かった。

好天に恵まれたせいか白馬山荘の宿泊者は200名以上とかなりの賑わいであった。





・2日目の朝、風は弱まり5時からの朝食後はご来光見学の時間である。空気が澄んでいるため、遠くの山々は鮮明に見え、今までになく富士山がくっきり見えた。日の出前後は刻々色合いが変化し、山々のグラデーションが素晴らしくシャッターを何度も押してしまった。5:57 太陽が顔を出すと歓声が上がり、背面の立山連峰・剣岳は紫がかったモルゲンロートに照らし出された。



ゆっくり支度を済ませ、持参したグロワーズカップコーヒーでモーニングコーヒータイムを楽しみ7:15 出発となった。昨日に続いて2度目の山頂、風は弱くじっくり大パノラマを堪能してから2日目の行程が始まった。



山頂からゆっくり景色を楽しみながら三国境に向かう。昨日通ってきた小蓮華岳はなかなか端正なカッコよい山である。清水岳・猫又山の向こうには富山湾が望まれる。素晴らしい稜線散歩の秋晴れの朝であり気持ちよい。



三国境から鉢ヶ岳・雪倉方向に進むと鉢ヶ岳との鞍部の少し手前に右方向に進む鉢山道の始点がある。大きな山容の雪倉岳の斜面には残雪もあり、鉢山道が進む左の斜面は赤・黄の紅葉と緑の極彩色の錦で彩られ、今回の山行のハイライトが近づいてくことに胸が躍る。蓮華温泉から鉢山道を登ってくるハイカーも丁度稜線に到着する時間で、数人に尋ねてみると、「驚くほどの素晴らしい紅葉です」と同じ返事が返ってきた。



ザレタ登山道を慎重に下り、真っ赤なナナカマドの紅葉と紺碧の空に雪倉岳を入れた構図で繰り返しシャッターを押した。丁度飛行機が通過中で一筋の飛行機雲がアクセントとなるショットもゲットできた。雪消えが遅かったせいか、夏のお花畑も少し残っており夏と秋が同居している不思議な世界も味わえた。







さらに下ると赤や黄の素晴らしい景色が次から次へと現れ、有頂天状態である。真っ赤なナナカマドをバックにしたチングルマの穂の群落も撮影できた。やがて塩谷精練所跡に到着、小蓮華岳方向の稜線をバックに写真撮影した。鉾山道をさらに進むと、雪倉岳の斜面は滝や岩壁と紅葉の織り成す錦絵の世界が現れてきて度肝を抜かせるほどの素晴らしさと言える。瀬戸川の谷に向かって下って行く彼方には妙高・火打・焼山の頸城三山が遠望できる。ネットによる情報では熊の糞に遭遇したと書いてあったか、まさにその通り、1~2日前の糞に2回遭遇、2度あることは3度あると言われるが、最後に干からびた糞に遭遇し、なんと3回も黒い大きな熊の糞の洗礼を受けました。単独行では怖いですね。小さな沢を2回ほど渡渉し、沢状の地形（水は流れてないが、降雨時は沢となるであろう。従って鉾山道が降雨時は降雨後は通行できない）を暫く進み、樹林帯の登山道を東へ下って行くと漸





く瀬戸川（1480m）に到着、対面は急な崩落地である。鉄パイプを組んだ橋を渡り、崩落地の急斜面にトラバースしながら登っていく。黒っぽい光沢のある岩石が崩落しており、孫のお土産にと、数個ズボンのポケットに押し込んだ。





蓮華温泉まで残り 1 時間 20 分ほどの行程、ブナの大木の素晴らしい、小さな沢も 2~3 ヶ所通過する入り組んだ地形を黙々とフィナーレに向かった。14:00 少し前に蓮華温泉に到着、「薬師の湯」と「仙気の湯」という有名な野天風呂で 2 日間の汗を流し、極楽気分で帰葉した。